

An aerial photograph showing a wide river with a large, central island. The river is bordered by a city on the left and a dam on the bottom left. A bridge crosses the river in the middle. The text is overlaid on the image.

# 中川原公園の災害復旧に関する説明会

人吉市役所 都市計画課

# 1. 中川原公園の被害状況について

## ○被害の概要

中川原公園は、人吉市の市街地中心部に位置し、一級河川球磨川に囲まれた公園である。本公園は鮎釣りやキャンプ、花火大会の打ち上げ会場といった多様な利活用がなされてきており、市内外からの利用者に親しまれてきた公園である。

令和2年7月豪雨では球磨川本川及び支川が観測開始以来最高となる水位まで急激に上昇し、人吉市の市街地をはじめ広範囲で甚大な被害が発生し、本公園においても施設の大半が破損・流失した。この豪雨を契機として、公園を管理する人吉市では、公園の撤去や形状の変更について検討するため、河川管理者である国土交通省八代河川国道事務所に依頼し、治水上の影響について水理解析を実施した。

人吉市では、その結果を踏まえ、中川原公園の形状変更を行い、治水安全度を高めて復旧することを決定した。

被災前の中川原公園



増水状況



被災状況（階段部）



被災状況（大橋より上流側を臨む）



被災状況（大橋より下流側を臨む）



## 2. 中川原公園の復旧方針について

### ○復旧案の検討（広報ひとよし令和4年4月号より）

中川原公園の復旧は、河川増水時の影響について科学的な検討が必要なため、国に復旧案の検討を依頼し、水理解析や模型実験などで水の流れや水位の変化を検討しました。検討結果と歴史的な観点や市民の皆さんのご意見などを踏まえ、市は被災前の公園地盤高から約2.0m地盤を下げる復旧案で復旧することとしました。

#### 【検討を行った復旧案】

①原形復旧案、②施設（樹木、遊具等）撤去案、③地盤を約2.0m下げる案、④公園廃止案

#### 【検討結果】

◇①原形復旧案に比べ、③地盤を約2.0m下げる案と④公園廃止案では、公園付近の流速が低下し、球磨川の流れが安定する。

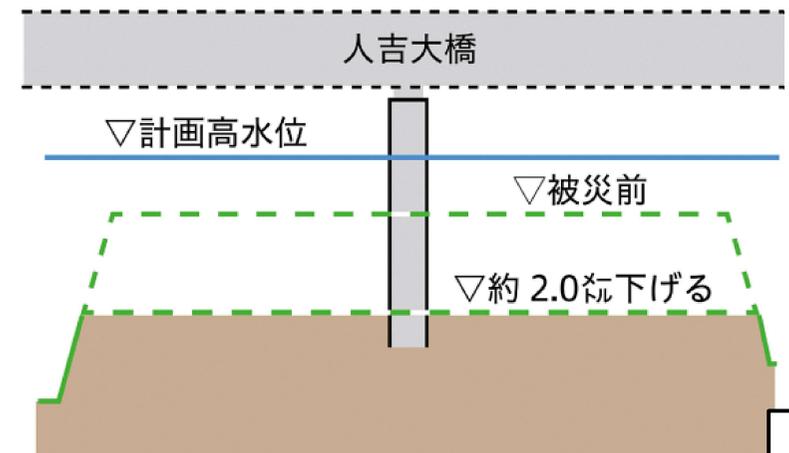
◇①原形復旧案に比べ、③地盤を約2.0m下げる案で水位は左岸側（川南）で22%程度下がり、④公園廃止案で左岸側

（川南）で24%程度下がる結果となった。③地盤を約2.0m下げる案と④公園廃止案では、大きな差はない結果となった。

◇過去10年間の水位実績データから、③地盤を約2.0m下げる案では公園の浸水頻度は年に1度程度となる見込みである。

#### 【復旧方針】

- 公園地盤高を約2.0m掘り下げて復旧することとします。
- 公園内の施設については、増水時の影響を考慮して設置を検討します。
- 今後は、公園の機能や利活用についてご意見、アイデアなどを市民の皆さんに聞きながら将来の中川原公園の在り方を検討します。



### 3. 中川原と球磨川水位について

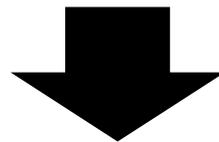


中川原浸水状況（R5.7月）



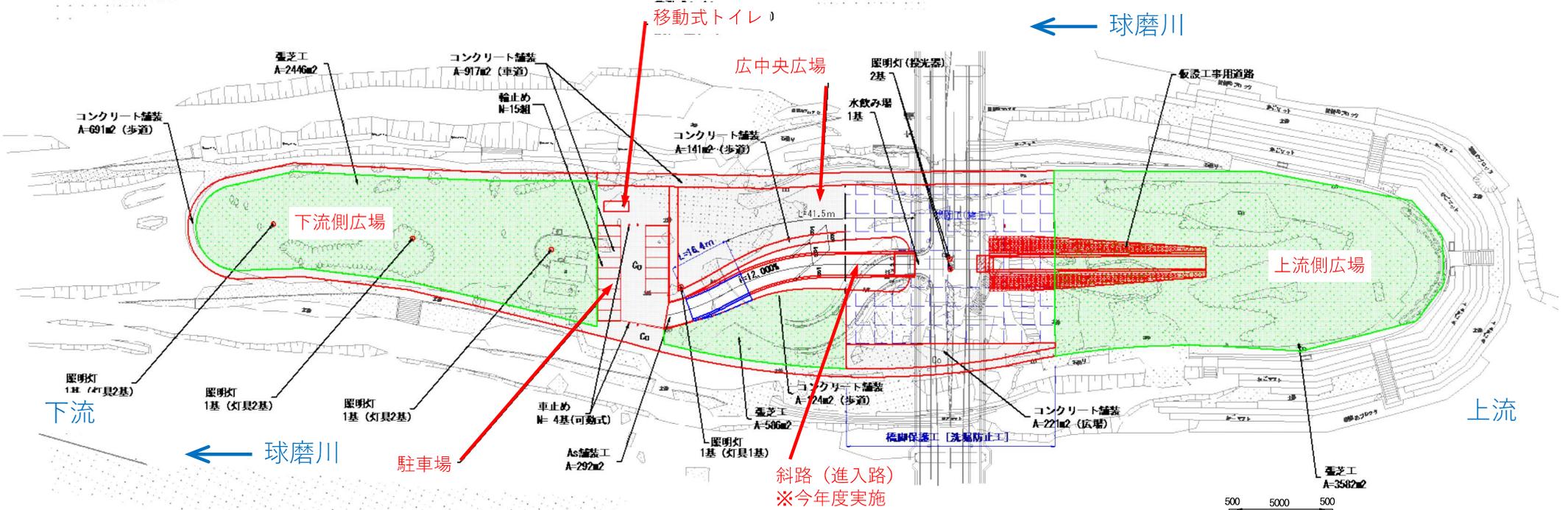
中川原浸水時の水の手橋状況（R5.7月）

検討結果であったとおり年に1回以上は浸水する。  
※7月と8月に1回ずつ浸水



今後は浸水を想定した施設と維持管理が重要

# 4. 中川原公園復旧計画（案）



## 復旧計画の主な概要

- ①斜路は河川の流れを阻害しない線形へ
- ②駐車場の位置を変更
- ③園路は大橋より下流側に集約
- ④照明灯は橋脚の流心方向に沿った配置
- ⑤トイレは浸水の影響を回避できる移動式トイレに変更
- ⑥中川原公園が河川区域になったため、設置物については協議が必要。

